

BWV8 愛する神 私はいつ死ぬのでしょうか

1. 合唱

愛する神 私はいつ死ぬのでしょうか。
時はたえず過ぎ去りゆく。
私もアダムの子孫の一人
父祖から受けた嗣業をついで、
顔に汗して働き
短い時間を 地上で貧しく悩みのうちに過ごし
しかして後、出てきた土に返るのです。 ※1

2. アリア テノール

わが霊よ何を恐れている。
終わりの時を刻めばわが肉体は土に返る。
そして人はみなついの住処に運ばれる。

3. 朗唱 アルト

わが弱き心、 煩い痛む
安息はどこに
だれがこの魂を罪過から解き放てるのか
わがイエス散らされ愛するものたちはかなしんでいう
いずこにいかんや。

4. アリア バス

失せ去れむなししい思い煩いよイエスが呼び給うのであれば
行かなければならない。 わが喜びはこの世にはない。
差しい出よ幸いな喜びのあけぼの栄光に輝くイエスの前に立とう。

5. 朗唱 ソプラノ

世よ奪え わがすべてをわが肉と骨すら
わが貧しさをも奪うものよわれ神により豊かに
こよなき富を持つ
父の真実まことこそわが残す遺産朝ごとに新たにし
死に絶えることはない。

※2

主の慈しみは決して絶えない。 主の憐れみは決して尽きない。
それは朝ごとに新たになる。「あなたの真実はそれほど深い。
主こそわたしの受ける分」とわたしの魂は言い／わたしは主を待ち望む。

6. コラール

死と命を治めたもうかた
わたしの終わりを善きものとなし
魂を固く保ってすべて御手に委ねまつらん
私を助けキリスト者のそはせに墓を得て土に返る。
もはや恥を受けることはない。

初演 1724年9月24日 三位一体16

書簡 エペソ 3:13-21 (あなた方が愛を知り満たされるように)

福音書 ルカ 7:11-17(ナインの若者のよみがえり)

基本コラール カスパル・ノイマン (1690頃)

バッハの53曲のコラールカンタータのなかで本曲のコラール歌詞は旋律とも最も新しいものの一つである。肉体の死とイエスによる魂のよみがえりを主題とする三位一体後16主日礼拝に、敬虔主義の影響も感じられる「新しい」コラールを選んだのは、個人的にも甘き死一の憧憬を強く感じているバッハ自身であろうか。(H.リリンク「バッハカンタータ全集」:井形ちづる)

※1 創世記3:19

3:19 お前は顔に汗を流してパンを得る 土に返るときまで。

お前がそこから取られた土に。 塵にすぎないお前は塵に返る。」

※2 哀歌3:22-24

主の慈しみは決して絶えない。 主の憐れみは決して尽きない。

それは朝ごとに新たになる。「あなたの真実はそれほど深い。

主こそわたしの受ける分」とわたしの魂は言い／わたしは主を待ち望む。